

# にかほ

# 福祉だより

第27号

平成23年4月15日

基本理念

「安心して暮らせる福祉のまちづくり」に自覚と誇りをもって行動しよう

編集発行

社会福祉法人 にかほ市社会福祉協議会

秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1

TEL 0184-32-3020 FAX 0184-37-2852

ホームページ <http://nikaho-shakyo.jp>



～会場は活気にあふれ～

「ふれあい交流会」&「家族介護教室」

もくじ

- P2 … 会長より新年度のごあいさつ  
平成23年度 事業計画（基本目標）
- P3 … 平成23年度 事業計画（基本方針）
- P4 … 平成23年度 一般会計・特別会計収支予算  
地震発生によるにかほ市社協の取り組み
- P5 … 地震発生によるにかほ市社協の取り組み（続き）
- P6 … 各支所事業紹介
- P7 … お知らせ（広告の募集・ふれあい相談日他）
- P8 … 善意ありがとう、東日本大震災義援金他

3月4日（金）、温泉保養センターはまなすにて、毎年恒例となりました一人暮らし高齢者等を対象にした「ふれあい交流会」と、在宅で介護されている方を対象とした「家族介護教室」を合同で開催しました。午前中は、横山敦子先生（大砂川）のご指導のもと軽体操を行い、笑いがこぼれ和やかな雰囲気の中で身体を動かしました。午後からは演芸大会。皆さん、踊りや歌を披露し、最後は参加者全員で「さくら音頭」を踊り、また元気で再会しようと声を掛け合い、楽しいひとときを過ごされました。



ご挨拶

にかほ市社会福祉協議会  
会長 板垣 晴一

陽春の候、市民の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、にかほ市の地域福祉向上について、格別のご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

お陰様で、地域福祉活動計画に基づく年度計画は順調に推進され、新年度を迎える運びとなりました。深く感謝と御礼を申し上げます。

さて、去る三月十一日午後二時四十六分に発生した、東日本大震災は、未曾有の大灾害になりました。不幸にも、この大災害で被災されました方々には、市民の皆様とともに心からのご冥福とお見舞いを申し上げたいと思います。

にかほ市では、石油製品や生活物資の不足は見られましたが、先ずは平常の生活を取り戻しつつあります。

私たち社会福祉協議会では、地震後、速やかに高齢者世帯、一人暮らしなど、生活弱者の安否確認を民生委員、自治会長、行政当局とともに行つた

ところです。幸い、事故もなく、安全の確保が出来ました。石油販売店はじめ、関係各位には心から感謝を申し上げる次第です。

この度の大災害は、私たちに多くの教訓を残しました。その中で、緊急事態においては、切羽詰った消費者に、選択の余地はなく、只、混乱する情報に振り回され、情報不足による不安感が過剰反応を増幅させる要因になる、ということでした。そして、「良い社会とは、困難な時期に団結するものだ」と言われます。

この大震災の経済などに及ぼす影響は大きく、地域経済の停滞や市民の方々の気持ちも萎縮しておりますが、にかほ市社会福祉協議会は、この教訓を基に、新年度においても、自觉と誇りを持って、「安心して暮らせる福祉のまちづくり」のために努力して参りたいと思います。市民の皆様からのご理解とご協力をお願ひ申し上げます。



## 平成23年度 事業実績十面

平成23年度事業計画及び一般会計・特別会計収支予算について、去る3月14日に開催した理事会にて同意を得て、3月25日の評議員会にて議決されました。

### ◆ 平成23年度 基本目標 ◆

当市の福祉課題として、これまで少子高齢化の進行や若年人口流出に伴う過疎化や限界集落化が懸念されてきましたが、近年の経済不況に伴う雇用情勢の悪化や就労年齢層の引きこもりに対する生活支援など、新たな地域福祉課題も顕在化しております。

また、子育て世代である若壮年層への心理的・経済的な援助や、障害を有する方々やそのご家族に対する支援や協力など、社会福祉の対象となる方々に対して積極的にアプローチしていく必要があるものと思われます。

昨年度、本会では基本理念を制定し、地域福祉の実施主体であり実働組織であることを存在意義として掲げ、各種事業を施行して参りました。しかしながら、地域及び個々のケースにおいて、生活課題や福祉ニーズは多種多様かつ複雑多岐にわたるため、今後もあらゆる方面での相談・支援体制が求められてくるものと推察されます。

近年、地縁・血縁関係も希薄化が進み、孤独死や自殺、無縁社会化など地域社会を取り巻く環境は年々厳しさを増しておりますが、地域福祉関係者や行政、関係団体等が相互に連携・協力できる体制を整備・構築し、市民が安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、地域福祉事業を進めています。

また、介護保険事業や障害者自立支援事業を通じて、高齢者や障害者の方々が介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた自宅や地域で生活できるよう、在宅介護の充実と質の向上を図りながら、利用者本位のサービスを提供できるよう事業を開拓していきます。

さらに本会の基盤である法人運営事業については、適正に会務運営を行い、また自主財源の確保に努めながら、経営と財政の充実強化を目指します。

## ◆ 平成23年度 基本方針 ◆

### 1. 住民参加で支えあう地域福祉活動の活性化を目指します。

- ◇地域福祉ネットワーク事業
- ◇町内会長・民生児童委員・福祉員合同会議
- ◇住民アンケート事業
- ◇住民座談会事業
- ◇高齢者等声かけ見守り巡回事業
- ◇ボランティアセンター事業  
(ボランティアステーション事業)
- ◇ボランティア育成事業
- ◇共同募金運動への協力
- ◇赤十字事業への協力
- ◇地域福祉活動推進事業
- ◇福祉員会議
- ◇手話養成講習会
- ◇緊急通報装置貸与事業
- ◇防火査察事業



▲ボランティアセンター事業  
(10月20日のボランティアデー。  
写真は、H22年度の清掃活動  
の様子です。)

### 2. 健康と生きがい、仲間づくりの活動を推進します。

- ◇異世代交流事業
- ◇栄養改善事業 (配食サービス事業)
- ◇ミニディサービス事業



▲ミニディサービス事業  
(3地域で毎月開催。体操やゲームなど、  
楽しい内容で実施。写真は、中学生が  
体験学習に来られた時の様子です。)

- ◇各種団体への助成・協力
- ◇外出支援事業
- ◇シルバー健康推進事業
- ◇ふれあい交流会
- ◇シルバー料理教室
- ◇手作りメッセージ事業
- ◇ふれあいディサービス事業
- ◇おもちゃライブラリー事業
- ◇映画上映会
- ◇雪国高齢者の健康づくり事業
- ◇福祉バス運行事業
- ◇老人福祉センター管理委託事業
- ◇元気百歳館管理委託事業



▲おもちゃライブラリー事業  
(仁賀保地域では、毎月3回  
開催。金浦・象潟地域でも年  
6回ずつ開催します。)

### 3. 福祉サービス利用者の保護と相談支援体制の強化に努めます。

- ◇一般相談 …… 社協職員が対応し、隨時開設します
- ◇無料法律相談 … 弁護士が対応し、年12回開催します
- ◇無料登記相談 … 司法書士が対応し、年6回開催します
- ◇介護相談 …… 社協職員が対応し、随时開設します
- ◇相談事例検討会
- ◇たすけあい資金貸付事業 … 上限は5万円です
- ◇生活福祉資金貸付事業 …… 各種、資金貸付の相談に応じます
- ◇福祉だよりの発行 …… 年5回発行します
- ◇ホームページの公開 … 随時更新し、情報を発信します
- ◇日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)
- ◇行旅人等法外援助事業



▲訪問入浴介護事業  
(訪問入浴車で利用者宅を訪  
問し、入浴を提供します。)

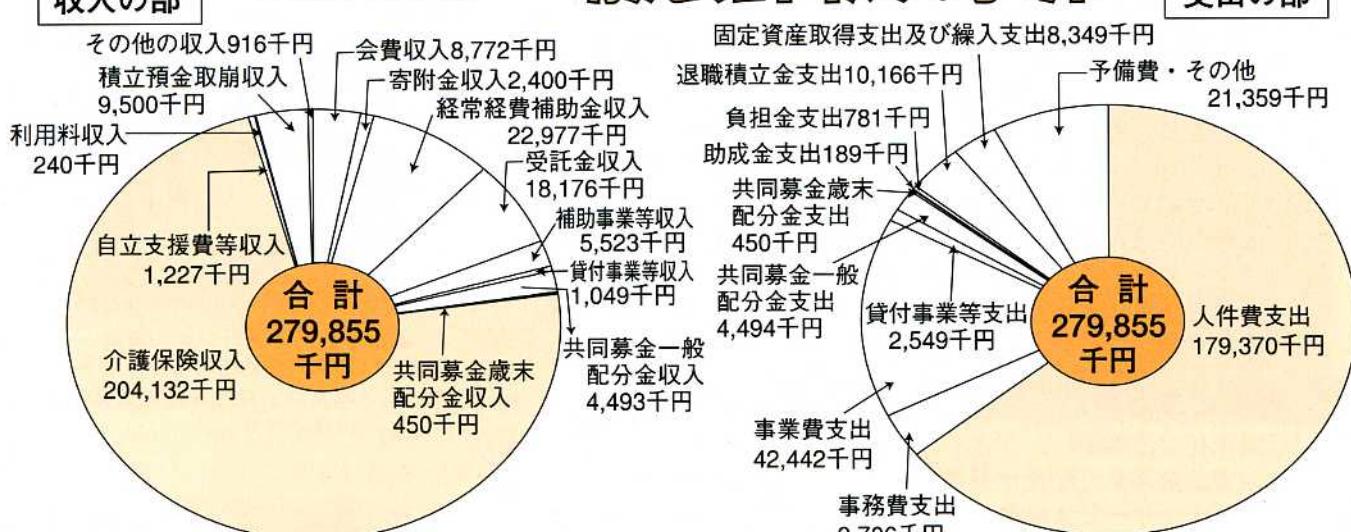
### 4. 安心・安全で質の高い在宅介護サービスの提供に努めます。

- ◇居宅介護支援事業
- ◇訪問介護事業 (介護予防含む)
- ◇通所介護事業 (介護予防含む)
- ◇訪問入浴介護事業
- ◇障害者自立支援居宅介護等事業
- ◇介護予防ケアマネジメント事業
- ◇要介護認定調査事業
- ◇生活管理指導員派遣事業
- ◇軽度生活援助事業

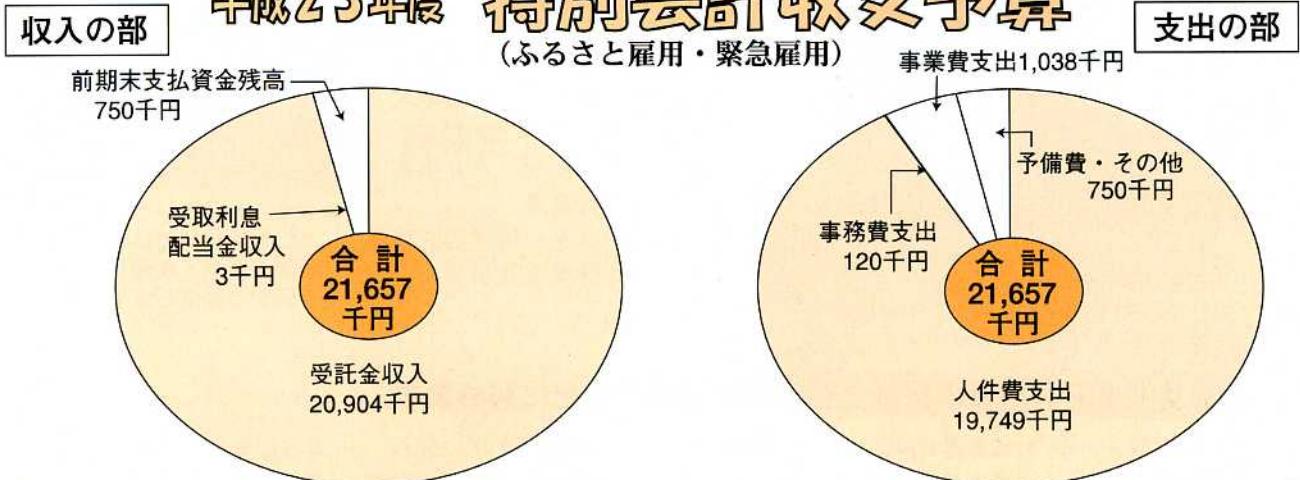
### 5. 法人運営や経営基盤の強化と人材育成を推進します。

- ◇理事会
- ◇評議員会
- ◇監査会
- ◇正副会長会議
- ◇総務部会
- ◇地域福祉部会
- ◇在宅福祉部会
- ◇広報委員会
- ◇ボランティアセンター運営委員会
- ◇管理職会議
- ◇内部検査の実施
- ◇職員による会議
- ◇役員研修
- ◇職員研修
- ◇介護職員研修
- ◇秋田県ふるさと雇用再生臨時対策基金事業
- ◇秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業
- ◇共同募金会理事会
- ◇行政との連絡調整

## 平成23年度 一般会計収支予算



## 平成23年度 特別会計収支予算



### ① 義援金の受付窓口を開設しています

にかほ市社協では、義援金の受付窓口を開設しています。社協各支所へ義援金をお持ち下さるか、直接次の口座に振り込むことも可能です。（平成23年9月30日まで・手数料無料）

#### 共同募金会

##### ◆ 受入口座

###### (1) 銀行振込

① 秋田銀行本店 普通 902756

② 北都銀行本店 普通 304416

◇ 名義「社会福祉法人 秋田県共同募金会  
会長 前川盛太郎」

#### 日本赤十字社

##### ◆ 受付口座

###### (1) 銀行振込

① 秋田銀行本店 普通 516304

② 北都銀行本店 普通 888228

◇ 名義「日本赤十字社秋田県支部長」

(2) 郵便振替 口座番号 00140-8-507

◇ 名義「日本赤十字社 東日本大震災義援金」

※通信欄に「東日本大震災義援金」と必ず明記して下さい。



## ② 生活相談窓口を開設しています

にかほ市社協では、震災により一時避難されている皆様を対象に社協各支所において生活相談窓口を開設し、生活全般に関するご相談を受け付けております。住まいに関すること、生活費に関すること、育児(教育)に関すること、介護に関することなど、被災地が一日も早く復興されることを願い、出来る限り支援を行いますので、お気軽にご相談下さい。



## ③ ボランティアの受付登録をしています

にかほ市社協並びに秋田県社協では、この度の震災等に関するボランティア(個人・団体)の登録・募集を行っています。

○県内での活動希望⇒にかほ市社協へ登録

○被災地(県外)での活動希望⇒秋田県社協に登録

\*いずれも「登録申込書」は、にかほ市社協にありますので、社協各支所にご来所の上ご登録願います。

\*あくまでも関係機関や被災地からの要請に基づき対応することになりますので、活動に至らない場合もあることをご理解願います。

### にかほ 仁賀保支所

にかほ市平沢字八森31-1  
(にかほ市総合福祉交流センター「スマイル」内)

☎0184-32-3010



### このうら 金浦支所

にかほ市金浦字金浦321-1  
(「元気百歳館」内)

☎0184-38-2375



### ささかた 象潟支所

にかほ市象潟町字浜山121-2  
(「老人福祉センター」内)

☎0184-43-2543



## ④ 職員を派遣しました

3月30日～4月5日にかけて社協職員の平川手話通訳士が宮城県石巻市に派遣されました。7日間の任務を終え、にかほ市に帰ってきた平川手話通訳士よりレポートをいただきましたので紹介します。

今回支援に行った石巻市は人口16万人。仙台市から海岸沿いに50Km程北上した所にあります。今現在146か所の避難所に17,000人、死者2,500人、行方不明者2,700人という大きな被害を受けた地域です。人的被害のほとんどは津波によるもので、午後2時46分という時間は、沿岸地域で働いていた人や学校で過ごしていた子どもたちのほとんどが津波にさらわれてしまいました。

地元宮城の「東日本大震災聴覚障害者救援宮城本部」からの救援要請を受け、震災で被害を受け開通したばかりの三陸道へ乗り、普段であれば仙台から1時間程度で着く石巻ですが、被災地へ向かう自衛隊や物資を積んだトラックなどの渋滞で4時間かけて辿り着くことができました。対策本部が市役所になっており避難所にもなっていました。市役所の機能は混乱しており各階は助けを求める人で溢れていきました。今回の震災は地震の揺れによる倒壊はほとんどなく、津波による直撃を受けた地域ではすべての物が流され痕跡さえ残っていません。辛うじて建物は残っているところでも流れてきた車や家具、電化製品などから、子どものおもちゃやランドセル、靴や服などあらゆるものが散乱していました。

今回の支援は被災した聴覚障害者支援のため、障害福祉課に窓口を作り、話を聞いたり、避難所へ行って連絡や情報を伝えたり或いは被災現場へ同行し被害状況の聞き取りなどをしました。



▲津波で流された車



▲一緒に支援にあたった市障害福祉課職員と地元や石川県より派遣された手話通訳士（後列左から2番目が平川手話通訳士）

ほとんどの避難所ではお年寄りや障害を持った方は同じ体育館や公民館といった大きなフロアと一緒にになって避難しています。物資面での不自由はもちろんですが、精神的な負担もかなり大きなものがあります。それでも、「あそこのおばちゃん、みんな死んで一人だがらおれ付いている」「あの人耳聞こえないから、一緒について行って物資もらってくる」と助け合って懸命に日々を過ごしていました。復興まではまだまだ時間がかかります。同じ東北に生きる者として少しでも支えになる支援をしていかなければと思いを強くして帰ってきました。  
(平川信夫)



▲崩壊した家屋

## 象潟支所

「感謝」でつながる「福祉」のこころ

### 象潟中学校で『福祉体験学習』

3月17日（木）、象潟中学校1年生の総合学習の授業の一環として、「福祉体験学習」が行われました。前半は、板垣社協会長による講話が行われ、少子高齢化が進むにかほ市の現状やこの度の大震災に関する話などから、“感謝”することの大切さや、身近な福祉活動の取り組みについて学習しました。後半は社協職員の平川手話通訳士による手話の演習が行われ、言葉を発せずに相手に伝える難しさや基本的な手話について学習し、福祉に対する理解や関心を深められました。



▲ジェスチャーを使った伝言ゲームでは、伝達の難しさを体験しました

## 金浦支所

介護保険事業について知識深める！

### 前川地区で「座談会」

1月21日（金）、前川の「いちょう館」にて前川老人クラブを対象とした座談会を開催しました。初めての試みとして象潟訪問入浴介護事業所の入浴車を実際に設置し紹介しました。初めて見る方がほとんどで、実際に浴槽の中に入った方からは、「思ったより寝心地がいいな～」との感想をいただきました。

その後は、社協の概要などを説明。中でも一番関心があるのは介護保険についてで、様々な質問が出て、皆さん真剣に話を聞いていました。



▲会場に浴槽を運んで、デモンストレーションを行いました

## 仁賀保支所

～ざつと5歳は若返り・・・～

### ミニディサービス「お化粧教室」

2月17日（木）のミニディサービスでは、佐々木久美さん（平沢）を講師にお願いして「お化粧教室」を開催しました。顔のマッサージの仕方を教えてもらい、眉を揃えてもらって一人ずつアドバイスを受けながらお化粧をしてもらいました。お互い、「おめ、綺麗だなあ」と褒めつつ、お化粧をして普段と違う自分に皆さん大満足でした。いつまでも若々しくお過ごし下さい。



▲顔のマッサージ、気持ちよさそうです

介護のことについては、下記までお気軽にご相談下さい。

### 介護事業所

- ・象潟居宅介護支援事業所 にかほ市象潟町字浜山121番地2 ☎43-2543
  - ・金浦居宅介護支援事業所 ☎金浦字金浦321番地1 ☎38-2375
  - ・にかほ居宅介護支援事業所 ☎平沢字八森31番地の1 ☎32-3011
- \* 相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

お 知 ら せ

広 告  
を募集します！

「にかほ福祉だより」の紙面を利用して、  
企業・商店をPRしませんか？

にかほ市社協では、原則として本会の会員として社協活動にご協力いただいている地域の企業・商店等の皆様を対象に、次のとおり広告主を募集し、「にかほ福祉だより」に企業広告を掲載することにしました。皆様のご応募をお待ちしております。



- 1. 申込者資格
  - ・市内の民間事業者（企業、個人）で本会の会員となっているもの、または市外の民間事業者で本会の趣旨に賛同するもの
  - ・公共的団体その他これに類するもの
- 2. 規 格
  - 1 枠 縦50mm×横60mm カラー刷り
- 3. 掲載料金
  - 各号 1 枠 8,000円（原則、最大6枠まで増枠可能）

\* お申込み、お問合せは、企画福祉課（☎32-3010）までお願いします。

### ふれあい相談日

○無料法律相談（弁護士対応）

日 時 5月9日（月）午後1時～4時  
場 所 象潟支所（老人福祉センター）  
担 当 平野一史 弁護士  
申込先 象潟支所（☎43-2543）  
定 数 6名（先着順）【要予約】

日 時 6月13日（月）午後1時～4時  
場 所 仁賀保支所（スマイル）  
担 当 平野一史 弁護士  
申込先 仁賀保支所（☎32-3010）  
定 数 6名（先着順）【要予約】

○無料登記相談（相続等）

日 時 5月12日（木）午後2時～4時  
場 所 金浦支所（元気百歳館）  
担 当 渡辺嘉宏 司法書士  
申込先 金浦支所（☎38-2375）  
期 限 5月9日（月）【要予約】

○一般相談（相談員又は職員対応）

隨時各支所にて対応します

\* 相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

### 人事異動の紹介

[4月1日付]

- 斎藤 尚幸 （象潟支所から仁賀保支所へ）
- 佐藤 真紀 （金浦支所から象潟支所へ）
- 岡田 祐子 （金浦支所から象潟支所へ）
- 斎藤 秋穂 （仁賀保支所から金浦支所へ）
- 武田久仁子 （仁賀保支所から金浦支所へ）
- 佐藤 衣里 （仁賀保支所から象潟支所へ）



勤務場所が変わっても地域の方々、利用者の皆様のために日々努力して参りますので、今後共よろしくお願ひ申し上げます。

にかほ市社会福祉協議会で事業運営していました、横根にある薰風苑隣の『まがりや食堂』ですが、今年度よりにかほ市シルバー人材センターで管理運営することになりました。今後も引き続きご利用下さいようよろしくお願い申し上げます。

### ボランティア

ボランティアのことについては、センター・各ステーションまでお気軽にお問合せ下さい

- ・ボランティアセンター（にかほ市社会福祉協議会） ☎32-3010
- ・象潟ボランティアステーション（にかほ市社協象潟支所） ☎43-2543
- ・金浦ボランティアステーション（にかほ市社協金浦支所） ☎38-2375
- ・仁賀保ボランティアステーション（にかほ市社協仁賀保支所） ☎32-3010

\* 登録、斡旋など、ボランティア活動に関して相談に応じます

ありがとう

(3月31日現在)

善

意

◎香典返しとして金一封のご寄付をいただきました

子藏章一子巖彦智賢雄コ弥一郎憲勉夫男春郎明一二  
久啓公京和恒茂タ伸金正和光好一金純  
中上山藤村藤山上藤藤木部藤山田成藤藤藤藤田田

◎香典返しとして金一封のご寄付をいただきました（続き）

◎社会福祉に役立てて下さいとご寄付をいただきました

・横岡日立老人クラブ	様	1,652円
・仁賀保高等学校旧職員一同	様	10,701円
・にかほ市立金浦中学校（金中市より）	様	45,140円
・両寿会（両前寺老人クラブ）	様	3,000円
・日本習字にかほ市席書大会実行委員会	様	27,127円
・佐々木トモ 様（下荒屋）		10,000円
・匿名 様		3,000円
・匿名 様		2,480円

# 東日本大震災義援金

(3月31日現在)

#### ● 共同募金会へ（社協受付分）

● 日本赤十字社へ（社協受付分） ● 日本赤十字社へ（市役所受付分）  
理清工程会計一括申込書類

- ・象潟庁舎受付分総額 873,229円
- ・金浦庁舎受付分総額 448,442円
- ・仁賀保庁舎受付分総額 738,155円

たくさんの義援金どうもありがとうございました  
4月1日以降の義援金については、次号にて紹介いたします



どんな事でもお気軽にご相談ください。

- ・代表(総務課) 秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1 ☎32-3020
  - ・象潟支所 // 象潟町字浜山121番地2 ☎43-2543
  - ・金浦支所 // 金浦字金浦321番地1 ☎38-2375
  - ・仁賀保支所 // 平沢字八森31番地の1 ☎32-3010

※相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

## 数字を見るにかほ市

(平成23年3月31日現在)

人口 27,999人  
 世帯数 9,552戸  
 65歳以上 7,982人  
 高齢化率 28.5%

「にかほ福祉だより」は、赤い羽根共同募金配分金や社協会費の一部を活用して発行しております